

—2016—

平成28年度事業報告

自 平成28年4月 1日

至 平成29年3月31日

平成29年6月17日

公 益 社 団 法 人

国民文化研究会

事務所 〒150-0011 東京都渋谷区東1-13-1-402
TEL 03-5468-6230 FAX 03-5468-1470

平成28年度事業報告

公益社団法人 国民文化研究会

はじめに

本会主催の「全国学生青年合宿教室」は、昭和31年8月、鹿児島県・霧島で第1回を開催して以降、本会の基幹事業として毎年欠かさずに開催して、61回目を迎えました。平成28年の合宿教室は初めての試みとして「東日本」と「西日本」の二ヶ所で実施することとなり、「東日本」は従来同様の三泊四日、「西日本」は参加の便を考えて二泊三日で行いました。「東日本」は昨年に引き続き豊かな自然に囲まれた静岡県御殿場市「国立中央青少年交流の家」において、また「西日本」は福岡県福岡市の香椎浜近くの「さわやかトレーニングセンター福岡」での開催となりました。大学生・社会人・及び関係者143名（内訳；東日本69名、西日本74名）の参加者が集い、「東日本」合宿では評論家・石平先生をお招きし、その他会内外の講師による講義・古典輪読・班別研修等によって、学問・人生・祖国のあり方を心ゆくまで語り合う真剣な研鑽が行われました。

合宿後には、会員有志によって編集された『参加者感想文集』及び合宿レポート『日本への回帰』第52集が刊行され、合宿での研鑽の様子を会員、賛助者をはじめ多くの方々にお伝えしました。また合宿参加者は合宿で出会った班員との交流を開始し、友情を深めることが出来ました。また、関東、関西、九州等の各地の学生及び社会人を交えて大学内、公私立施設における常設の研修活動（輪読会、読書会、「短歌の会」、テーマ毎の研究会等）も自ずから活性化することとなりました。これらの活動は、それらの会に参加する者同士が、お互いに切磋琢磨し学問する場であると同時に、多数の方々を対象に伝統文化の普及や思想啓発のための講演会・懇話会の開催といった活動に繋がってきています。

一方、内政・外交・教育の各方面では益々問題が錯綜していますが、私ども会員一同は、心を新たにして、本会の目的である「日本の長い歴史の中に蓄積された祖先の足跡を学び、国民各層への伝統文化の普及に努めるとともに、国内外で活躍する有為

な青年の健全な育成を推進し、もって学術・文化の振興並びに豊かな人間性の涵養に寄与する」ことに向かって、地道に邁進しておりますことをご報告いたします。

以下、当該年度の年間事業をご報告申し上げます。

I. 研修事業（公益目的事業）

1. 年次研修会としての「合宿教室」の開催

① 第61回「全国学生青年合宿教室（東日本）」の開催

「時代の転換点で私たちはどう生きるべきか」という前年の基本テーマを踏襲した「全国学生青年合宿教室（東日本）」を平成28年9月2日（金）から9月5日（月）までの3泊4日間、静岡県御殿場市「国立中央青少年交流の家」で開催いたしました。評論家・石平先生のご講義を中心に、本会会員による諸講義を加え、69名の参加者を得て各種行事を滞りなく遂行し、実り多い成果を上げることが出来ました。合宿運営委員を下記します。

本部

運営委員長	小柳志乃夫 須田清文
-------	---------------

指揮班

指揮班長	神谷正一 池松伸典 内海勝彦 最知浩一
------	------------------------------

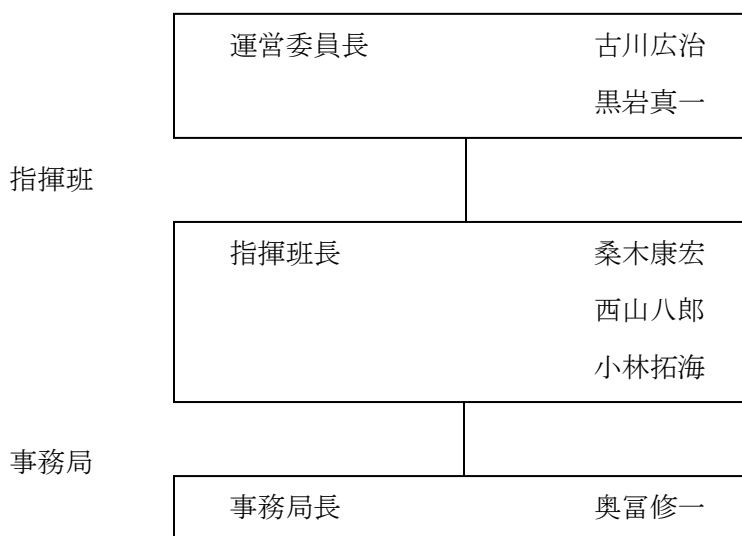
事務局

事務局長	奥富修一
------	------

②第61回「全国学生青年合宿教室（西日本）」の開催

「歴史に学ぶ—現在をより良く生きるために—」という研修テーマをかかげた「全国学生青年合宿教室（西日本）」を平成28年8月19日（金）から8月21日（日）までの2泊3日間、福岡県福岡市香椎浜の「さわやかトレーニングセンター福岡」で開催いたしました。本会会員による諸講義を中心に74名の参加者を得て、各種行事を滞りなく遂行し、実り多い成果を上げることができました。合宿運営委員を下記します。

本部



③第61回合宿教室『参加者感想文集』の刊行

上記の「合宿教室」に参加した学生・青年が、終了間際に記した感想文をまとめた『参加者感想文集』を例年通り刊行いたしました。会員の北濱道氏を中心に、各地の会員諸氏の協力のもとに、A5版135ページにまとめ、会員の撮影によるスナップ写真を挿入して短期間で仕上げることができ、平成28年12月25日に1,300部を刊行しました。合宿参加者と正会員、賛助会員へは早速送付し、賛助者はじめ江湖の方々には、『日本への回帰—第52集』（平成29年3月発行）と共にお送り申し上げます。各方面からお褒めのお言葉をいただき、本書が本会活動の内容を世間にお知らせするのに、またとない資料となっていることを改めて確認した次第

であります。

④61回合宿教室レポート『日本への回帰—第52集』の刊行

前記の第61回合宿教室のレポートである『日本への回帰—第52集』は、会員の森田仁士氏、黒岩真一氏の現地録音作業によるテープを基にして、関東地区在住の山内健生・磯貝保博両氏を中心とする会員諸氏の協力で、新書版374ページにまとめられ、平成29年3月に1,300部を刊行し、合宿参加者全員にも発送致しました。

2. 常設研修会としての全国各地での活動

「合宿教室」の開催を軸とする、全国各大学での学生達による学風刷新と同信の友との研鑽活動は、各地在住の本会若手会員（社会人）の助言、指導もあって、引続き充実した歩みが見られました。各地区の学生と社会人を交えての輪読会・読書会・短歌の会・古典研究会が全国的に展開されました。

【北陸地区】

富山在住の会員岸本弘氏が主宰する輪読会、講演会が継続して開催されました。

- ・かたかごの会
- ・「古事記」を読む会

両会の主催による講演会が小矢部市文化スポーツセンターにて行われた。

- ・第7回古典セミナー「日本を考へる」 平成27年11月15日（日）
- ・第8回古典セミナー「日本を考へる」 平成28年5月15日（日）

【関東地区】

関東地区では学生・社会人の参加する研修会が継続開催され、主として東京事務所のセミナー室で開かれました。

- ・小林秀雄著『本居宣長』読書会
- ・短歌の会
- ・四土会
- ・葦牙の会
- ・調つきの会
- ・北鎌倉輪読会

- ・日本の国柄と皇室に関する研究会
- ・興風会
- ・神奈川県教育問題研究会

広く参加者を募って同会の主催による講演会が四次にわたって開催されました。

- ・湘南会

【関西地区】

- ・関西信和会

【山口地区】

- ・輪読会

【福岡地区】

- ・福大寺子屋塾（福岡大学）

なお、福大寺子屋塾主催の卒業発表および学内講演会が開催された。

「卒業発表」（平成28年3月12日）

「第10回福大文化講演会」（会員講師 藤寛明、古川広治）（平成28年6月24日）

- ・九大会
- ・太子会
- ・小柳陽太郎先生に学ぶ勉強会
- ・眞木和泉守研究会
- ・古典輪読会
- ・古義會
- ・筑紫短歌の会
- ・鳥の郷古典素読会

【佐賀地区】（佐賀大学）

- ・輪読会

【長崎地区】

- ・短歌の会

【熊本地区】

- ・三土会
- ・社会人の勉強会

【鹿児島地区】

- ・ 輪読と昭和史研究会

3. 短歌通信の発行

わが国の伝統文化の中核をなす短歌の創作・実習の場として、全国各地から寄せられた短歌が随時「短歌通信」として澤部壽孫副理事長の編集によって継続発行されました。

4. 情報発信の基盤強化

本会のホームページ上に本会の事業活動の紹介はもとより、基幹事業である「学生青年合宿教室」及び本会主催の「国民文化講座」をはじめ各種講演会や諸行事及び各地での読書会、輪読会等の案内を掲示して、「合宿教室」の参加勧誘及び会員相互の研鑽情報の提供に成果を挙げています。最近ではホームページを通じての学生、社会人の「合宿教室」参加申込みも顕著になって参りました。

平成26年1月には本会のフェイスブックを開設いたしました。会員島津正數氏を管理者として、活発な情報発信をはじめております。多数の方々に本会の活動を理解してもらうためにも有効な手立てであると考えております。

II. その他の事業

1. 会報の発行

会報（月刊『国民同胞』）は、会員の研鑽の成果を世に問うという伝統を踏襲しつつ、また新しい企画も加えながら2,000部を継続刊行し、期末で第665号目の発行となっております。なお50号毎の合本も第13巻までを頒布しております。

2. 講演会の開催

第19期(第28回)を迎えた「国民文化講座」は、平成28年6月11日（土）、靖國神社「靖国会館」で開催されました。講師には東京基督教大学教授で「救う会」（北朝鮮に拉致された日本人を救出するための全国協議会）会長の西岡力先生をお招

きし「激動する朝鮮半島と日本」と題して、お話をいただき約70名が聴講いたしました。

3. 顕彰事業

日本学生協会・精神科学研究所・国民文化研究会の道統に連なる師友のみ霊をお祀りする本会恒例の慰霊祭は、平成28年9月25日（日）午後4時から飯田橋の「東京大神宮」において厳粛に執り行われました。ご遺族を含め42名の方にお集まりいただき、全国から献詠歌が多数寄せられました。また、この日に先立つ同年8月28日には福岡市南郊の油山中腹の泪が原に関係者19名が集い、昭和20年8月20日、敗戦の責めを負い自刃された長島秀男海軍技術中佐と寺尾博之海軍少尉の慰霊祭が執り行われました。